

こうちょうせんせい
校長先生からの「のびゆくすがた」

2学期は、修学旅行や校外学習、また、3年生以上の子どもたちは、いがまちにある3つの小学校の同じ学年の友だちと人権学習で学んできたことを交流する「三校交流会」、さらに今年は、他の学校の先生方に授業を見てもらう「研究発表会」など、多くの行事がありました。日々の学習とともに、そうした一つ一つの行事をなかまとともにやり遂げたことを自信として、3学期も、なかまとともに、いろんなことに挑戦して行ってほしいと思っています。

冬休みには、新しい年を迎えるための様々な行事があります。そうした行事にも積極的に参加し、有意義な冬休みにしてほしいと思っています。ただ、インフルエンザ等の感染症は拡がりが見られます。生活リズムを崩すことなく、元気に冬休みを過ごしましょう。

1学期同様、校長先生から、「のびゆくすがた」を渡します。

【1年生】10月には、たくさんの先生方に算数の授業を見てもらう機会がありましたが、みんなが一生懸命考え、発表をしていたので、みなさん驚いていました。どんなふうにブロックを動かしたのかも工夫をして書いていたのには感心しました。また、2学期は、家の人が、家でどんな仕事をしているのかをよく見たり、話を聞いたりすることを頑張りました。とてもうれしそうに家族の発表をしているのを見ていて、みんなが家族に大切にされていることが伝わってきました。みんなも家族の一人です。冬休みも、自分にできる仕事を決めて、自分から進んでやるようにしましょう。

【2年生】九九は覚えましたか？九九を覚えると、計算がとても楽しくなります。「上り」「下り」「バラ」どれでもぱっと言えるまで、冬休みもおうちの人といっしょに、繰り返し練習しましょう。また、2学期は、一人一人が「カメのもくひょう」を決めて頑張りました。「カメのもくひょう」とは、およそ1ヶ月後にめざす自分の姿を「もくひょう」として、1週間ごとに振り返りをしました。素敵だと思ったのは、友だちが「もくひょう」に向けて頑張っている姿もちゃんと見つけていて、それを伝え合うことができていることです。3学期も、そんな友だちの頑張りを認め合う、友だちを大切にする学級にしていきたいと思います。



【3年生】3年生は、市民センターやいがまち人権センターを訪問し、みんなの暮らしが多くの人に支えられていることを学びました。いがまち人権センターの訪問では、みんなが安心して暮らすためには、「安心」と「自信」が必要であることを教えてもらいました。その後、「誰もが居心地のよい学級」としていくために、教えてもらった「安心」「自信」をキーワードに、自分や自分たちの学級を振り返りました。そのときの授業では、「大丈夫だよ。」「私たちがついているよ。」「無理しなくていいよ。」など、友だちにかけていることが自然と出され、あたたかい雰囲気を感じました。3学期も、「誰もが居心地のよい学級」をみんなで作っていきましょう。

【4年生】これまでは、「みんなの前で、自分の考えを発表するのが苦手だなあ」と言っている子が多かったように思いますが、2学期になり、授業中でも、自分の思っていることを伝えようとする子が増えたので、授業を参観していても、いろいろな意見が繋がっていくので、見ていて楽しいです。10月には、たくさんの先生方に算数の授業を見てもらう機会がありましたが、そのときにも、みんなが自分の考えを発表できていたのは、うれしい驚きでした。また、同じ10月には、社会福祉協議会の方にお手伝いいただき、アイマスクをつけての歩行や車椅子での移動、また身の回りにあるユニバーサルデザイン見つけなどを体験しました。そうした体験の中で、友だちに、「段があるよ。」「右に行くよ。」などの指示の言葉とともに、「怖くない？」と尋ねたり、「わかりやすく言ってくれたから、全然怖くなかったよ。」といったことばが自然にやりとりされていた姿に、友だちに対する優しさを感じられ、うれしく思いました。3学期は、自分の思っていることを伝えるとともに、友だちが伝えてくれたことに対して、必ず、自分の思いや考えを返していくようにして、さらにいいなかまになっていきましょう。

【5年生】5年生は、学びに向かう姿勢が変わってきたなと思っています。「どちらの部屋が混んでいるかな」の授業の時に、レジャーシートの上にみんなで乗って混み具合を確認している姿や、また、「混んでいる」という状態を説明するときに、「クレヨンしんちゃんのみさえさんが買い物している時って、むっちゃ混んでいるやろ。」という友だちの説明にみんなが納得していた姿などに、みんなで知恵を出し合って、学びに向かおうという姿勢が感じ取れ、とてもうれしく思いました。また、いがまち三校交流会では、主催校としての自覚が、準備をしているときの姿や、当日、司会をしている姿、また、交流会の感想を進んで発言している姿から見て取れ、頼もしく思いました。3学期は、六年生を送る会や卒業式など、みんなで力を合わせてやっていかななくてはいけない場面がたくさんあります。みんなで知恵を出し合い、みんなでやり遂げていく姿を期待しています。

【6年生】2学期は、松村元樹さんや識字学級で学んでいるおばあさんやおじいさん、また三校交流会や「部落問題を考える小学生の集い」での講師さんや同じ6年生のなかまとの出会いをきっかけとして、正しいことを知る大切さを学ぶとともに、一人一人が自分を振り返り、その思いを互いに伝え合うことに、みんなで取り組んできた学期だったように思います。そんな中で、自分たちの言動も含め、学校生活で見られる「おかしなこと」に立ち止まり、声を出すことができるようになってきたことに、すごく成長を感じています。また、友だちに合わすのではなく、自分が正しいと思うことは伝えることもできるようにもなってきました。こうした姿は、友だちの思いを受け止めようとする関係が育ってきている現れでもあると思っています。ただ、まわりのことには目が向くけれども、まだ自分のことを見つめることが十分でないこともあるように思います。卒業まであと2ヶ月半。6年生21人が互いの思いを伝え合うことで、識字学級のなかまに負けないうらいの「かけがえのないなかま」となって小学校を巣立っていくことを期待しています。



校長先生

みんな、よくがんばったので、全員、花丸です。
3学期もみんなで素敵な壬生野小学校にしていきたいと思います。
ご家族みなさんと、よいお年をお迎えください。